

令和元年度東区自治協議会委員研修会について

【概 要】

日 時：令和元年7月11日（木）午後1時～2時30分

会 場：新潟県立大学 新厚生棟「ぱれっと」

内 容：県立大学2年生（約150名）とのワークショップ

大テーマ：県立大学生が考える東区のまちづくり

小テーマ	班	ファシリテーター	記録（報告書作成）
Aグループ 発災時、地域住民の一員としてどのような行動をとるべきか	A-1	関根 廣志	白井 俊和
	A-2	長谷川 徳昭	後藤 岩奈
	A-3	月岡 道子	野村 綾毅知
	A-4	雪井 美由希	佐藤 清
Bグループ 地域の中で、ボランティアとして一歩を踏み出すためには何が必要か	B-1	吉田 侑延	高橋 まり子
	B-2	山田 久美子	川上 文菜
	B-3	田中 一昭	白井雅子・斎藤裕
	B-4	佐藤 恵子	太田 節子
Cグループ あなたが勤めたい会社はどんなところ？どういうものがあれば新潟に残りたいか	C-1	國兼 忠男	野村 修一
	C-2	菊谷 きぬ子	中川 薫
	C-3	木村 早苗	土田 ムツ子
	C-4	大江 謙作	貝津幸子・眞柄貴子

【参 考】 令和元年7月17日（水）新潟日報 掲載記事より

東 区 若者の声 地域に反映

若者の意見をまちづくりに生かそうと、区自治協議会は区内の県立大生と同大で意見を交換した。ワークショップ形式で地域活動などについて話し合った。

自治協委員の研修として毎年開催。学生は約150人が参加した。①災害時に地域の一員としてどう行動するか ②ボランティアをするためには何が必要か ③どんな勤め先があれば新潟に残りたいかを考えた。

就職について話し合う班では、学生から「語学を生かせる仕事は新潟ではなかなかない」「（社員の働き方に考慮した企業である）ホワイト企業をもっとアピールしてほしい」といった声が上がった。

自治協の後藤岩奈会長は「会員制交流サイト（SNS）を使った情報発信など気付きにくい意見がたくさんあった」と語り、2年生の相田真侑さんは「地元出身でも新潟の企業はよく分からなかった。これをきっかけに新潟のことを考えてみたい」と話した。